

# 2002 年度 日本線虫学会 第10回大会プログラム

---

10月10日(木)

[総会]13:00~14:30

[一般講演]15:00~17:00

(座長:小倉信夫)

15:00 101 神崎菜摘・二井一禎(京大・院・農)

センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa* から分離された *Bursaphelenchus* 属線虫

15:15 102 前原紀敏(森林総研)・二井一禎(京大・院・農)

菌類によるマツノザイセンチュウ「兵糧攻め制御法」開発の試み

15:30 103 真宮靖治

数種木材腐朽菌のマツノザイセンチュウの増殖に及ぼす影響.

15:45 104 竹本周平・二井一禎(京大・院・農)

枯死木樹幹内の高温がマツノザイセンチュウ *Bursaphelenchus xylophilus* に及ぼす影響

(座長:真宮靖治)

16:00 105 長谷川浩一(中部大・生物機能開発研、京大・院・農)・二井一禎(京大・院・農)・三輪錠司(中部大生物機能開発研、応用生物)

マツノザイセンチュウ *Bursaphelenchus xylophilus* の胚発生

16:15 106 小倉信夫・中島忠一(森林総研)

マツノザイセンチュウ分散型・期幼虫誘導因子(DS4I)の性質の推測

16:30 107 吉田睦浩(農環研)

北日本産 *Steinernema* 属昆虫病原性線虫2種の低温下での生物学的特性について

16:45 108 吉賀豊司(佐賀大・農)・Ralf-Udo Ehlers (University of Kiel)

*Heterorhabditis* 属線虫の *Photorhabdus* 属細菌への栄養依存性について

10月11日(金)

[特別講演] 9:30~10:30

(座長:岡田浩明)

9:30 S1 Wasim Ahmad (Natl. Inst. Agro-Environ. Sci.)

Adaptive radiations in the feeding apparatus of dorylaim nematodes

(座長:三輪錠司)

10:00 S2 Roland N. Perry (Rothamsted Research)

Electrophysiological analysis of nematode sensory responses and plant reactions to nematode invasion

10:30~10:45 休憩

〔一般講演〕10:45～17:00

(座長 水久保隆之)

10:45 201 Gaspard, J. T.・中園和年((有)・ネマテンケン)・水久保隆之(中央農研)  
土壌土性及び微生物要素の分離方法

11:00 202 金田 哲・荒城雅昭(農環研)  
不耕起・堆肥連用圃場の土壌線虫の多様性(第5報)―分離・培養できた菌食性・細菌食性線虫とその圃場における検出頻度―

11:15 203 荒城雅昭(農環研)  
土壌燻蒸剤処理後の土壌線虫個体群および土壌線虫多様性の回復過程

11:30 204 岡田浩明・門田育生(東北農研畑地利用部)  
糸状菌で培養した *Filenchus misellus* (Tylenchidae 科) と *Aphelenchus avenae* (Aphelenchidae 科) の増殖率、体サイズおよび性比

11:45～13:15 休憩 昼食

(座長 荒城雅昭)

13:15 205 奈良部 孝(北海道農研畑作研究部)  
対抗植物のネグサレセンチュウ抑制効果に及ぼす雑草および自活性線虫の影響

13:30 206 持田秀之・立石靖・佐野善一(九州沖縄農研)  
線虫抵抗性カンショ栽培下における線虫密度の推移

13:45 207 佐野善一・岩堀英晶・甲斐由美(九州沖縄農研)  
サツマイモの特産品種、新品種・系統のサツマイモネコブセンチュウ4レースに対する抵抗性

14:00 208 岩堀英晶・佐野善一(九州沖縄農研)  
サツマイモネコブセンチュウとアレナリアネコブセンチュウ混在個体群におけるこれら構成比の寄主の違いによる経時的変化

(座長:奈良部 孝)

14:15 209 下元満喜(高知農技セ)・下元祥史(高知防除所)・岩堀英晶(九州沖縄農研)  
高知県のニラ圃場から検出されたネコブセンチュウ

14:30 210 九石寛之・塩山房男(栃木県農業環境指導センター)・小山田浩一(栃木県農業試験場)  
栃木県におけるいちごのネグサレセンチュウ及びネコブセンチュウの発生実態

14:45 211 北上 達・西野 実(三重科技振セ)  
土壌温度条件がメチオニンのサツマイモネコブセンチュウ防除効果に及ぼす影響

15:00 212 水久保隆之・竹原利明・伊藤賢治・相場 聡(中央農研)  
熱水と微生物資材の組み合わせ処理がトマトのサツマイモネコブセンチュウの動態と作況に及ぼす影響(第2、第3作)

15:15～15:30 休憩

(座長 佐野善一)

15:30 213 百田洋二・串田篤彦・植原健人(北海道農研)

マイクロチューバ紙筒移植によるジャガイモ塊茎のネグサレセンチュウ汚染回避

15:45 214 福澤晃夫・河原拓生・佐藤敦・西村弘行・百田洋二\*(道東海大工、\*北海道農研)

ジャガイモ栽培跡地に残留するジャガイモシストセンチュウに対する孵化阻害活性と孵化促進活性

16:00 215 串田篤彦・植原健人・百田洋二(北海道農研)

ジャガイモシストセンチュウ高密度畑における抵抗性バレイショ品種の線虫密度低減効果および収量性

(座長 百田洋二)

16:15 216 相場 聡(中央農研)

マメ科作物の栽培がダイズシストセンチュウ卵寄生菌に及ぼす影響

16:30 217 中園和年・Gaspard, J. T.((有)・ネマテンケン)・相場 聡・水久保隆之(中央農研)

3種の培地と5温度条件における線虫寄生性糸状菌 *Hirsutella* sp. の生育

16:45 218 立石 靖・佐野善一(九州沖縄農研)

イチジク園場のミナミネグサレセンチュウから検出された *Pasteuria* 属線虫寄生性細菌の特徴

[懇親会]18:00~20:00

---

## 記念公開シンポジウム「知られざる多数派:線虫のおもしろさ」

日時:2002年10月12日(土)9:45-15:45

場所:つくば国際会議場エポカルつくば 中ホール 200

茨城県つくば市竹園 2-20-3

TEL:0298-61-0001

<http://www.epochal.or.jp/>

### 講演プログラム

9:40 開会

午前の部:

「線虫と昆虫の不思議なつながり」

9:50-10:25 神崎菜摘(京都大学大学院農学研究科)

キボシカミキリと便乗線虫の共種分化:南西諸島における系統地理

10:25-11:00 津田 格(岐阜県立森林文化アカデミー)

キノコとキノコバエを利用する線虫

11:10-11:10 休憩

**11:10－11:45 相川拓也(森林総合研究所)**

マツノザイセンチュウ:いかに昆虫を利用し空を飛ぶかー病原力の違いによって異なる作戦ー

午後の部:

「線虫と足下に広がる宇宙:土」

**13:15－13:50 青木淳一(神奈川県立生命の星地球博物館)**

足下の宇宙に生きるー土壤動物の素顔

**13:50－14:25 荒城雅昭((独)農業環境技術研究所)**

こんなに多様ー知られざる多数派、線虫の世界

14:25－14:35 休憩

**14:35－15:10 水久保隆之((独)農業技術究機構中央農業総合研究センター)**

線虫による農作物の被害と防除戦略

**15:10－15:45 近藤榮造(佐賀大学農学部)**

日本線虫学会 10 年の進歩ーシンポジウム閉会の言葉に代えて

**15:45－15:50 閉会挨拶**